

### 杖道学外授業について

#### <勝敗の決め手>

仕と打を交代して勝敗を決める。それを三名の審査員がそれぞれの票で多数決をとる。

「傷つけず 人をこらして戒むる 教えは杖の 他にやはある」

これは、古歌の一部だ。

攻撃を主とせず相手の攻撃に応じて変化し制圧することを旨としている。

持ち手の幅を変えながら杖をすべらせて使うことで、相手との間合いを詰めることも広げられることもでき、自在に攻守を変化させることができる。

その中で指定された形を同時に演武し、技と間合いの正確さ、氣勢の充実度などにより勝敗を判定するのである。

#### <感想>

杖道の試合を生で見た感想として、日ごろの授業で行っている内容とは裏腹に、一試合一試合の緊迫感や生で見る臨場感を感じた。

一人一人のまなざしでその試合の意気込みなどがわかる。

また、勝敗を確定させる主審の宣告は見ていて緊張感があった。

勝負の決め手となる一手を注目してみていたが、初心者には少しわかりにくかった。

一番に驚いたことは、東京都杖道大会の会場に着いたとき選手がたくさんいたこと。

身体表現の授業を受けるまで杖道という競技を知らなかったのも、驚いた。



